

抗議文

2021年1月19日

在本邦アメリカ合衆国大使館
臨時代理大使
ジョセフ・M・ヤング 閣下

日本国大阪府豊中市長 長内 繁樹

貴国が昨年11月にネバダ州の核実験場で臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

豊中市は、非核宣言自治体として、核兵器は住民の生活と安全を脅かす究極の兵器であるとの認識に立ち、核兵器の撤廃を求めており、このたびの実験に対して、厳重に抗議します。

今回の核実験は、核兵器禁止条約の発効が決まった中で行われており、核兵器廃絶を求める世界中の人々の期待を裏切るものであり、国際社会における核軍縮・不拡散への取り組みに逆行するものです。

被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める多くの人々の願いに背く行為であり、到底容認できるものではありません。

貴国におかれましては、今後一切の核実験の計画を即時中止し、真摯に核軍縮に取り組むよう強く求めます。

貴職におかれましては、上記抗議内容について、即刻本国へ伝達されるよう要請いたします。